



湖北



自治会デジタル化支援アドバイザーら

自治会の円滑な運営を支援するため、長浜市は「自治会デジタル化支援アドバイザー」を派遣する事業を始めた。自治会運営において、高齢化や役員のなり手不足、業務負担増大が深刻な課題になっている。デジタル技術を活用することで、業務の効率化を進めていく。

アドバイザーの派遣は、市内1自治会最大2回。無料。1回当たり90分以内で、3人まで受講可能。デジタルツールの導入・活用支援や自治会資料のデータ化や業務プロセスの効率化など、各自治会でデジタル化が定着・発展するよう実践的な助言を行う。

また、2025年度から進めている事業「地域における女性の参画推進アドバイザー派遣」も継続する。いずれも申し込みは専用フォームで電子申請。女性参画は、担当課窓口に申請用紙を提出することも申し込める。

【長浜通信部・長谷川隆広】

長浜

自治会のデジタル化を支援
市がアドバイザー派遣豊国神社がオリジナル御朱印帳
秀吉ゆかりの4社が企画

長浜



豊国神社オリジナル御朱印帳＝同神社提供

長浜市南呉服町の豊国神社など豊臣秀吉ゆかりの4神社が合同でオリジナル御朱印帳を製作し、頒布している。NHK大河ドラマ「豊臣兄弟」放映に合わせて企画した。御朱印帳には、秀吉の生地・名古屋の豊国神社、一

一城の主となった長浜の豊国神社、天下をとった大阪城豊国神社、街づくりに尽力した京都の豊国神社の専用ページが設けられている。46社分の御朱印を受けられるスペースがある。

表紙にはドラマのロゴや秀吉と秀長の甲冑姿のシルエツト、裏表紙には瓢箪の図柄がそれぞれ刺繍されている。

豊国神社（長浜）の湯本崇彦宮司は「天下を取った秀吉公の軌跡に思いを巡らせてほしい」とコメントした。

大きさは縦18センチ、横12センチ。頒布料は3500円（御朱印書き込みを含む）。

【長浜通信部・長谷川隆広】

湖東

彦根

19歳のバス運転手デビュー
近江鉄道グループが養成

彦根市に本拠を置く近江鉄道グループで今夏、19歳のバス運転手2人がデビューする。若井貴清（たかし）さんと山口夢王（ゆおん）さん。大型2種免許取得には21歳以上で普通免許取得後3年以上が条件だったが、道路交通法改正（2022年）で受験資格が緩和された。これを受けて同グループは高校新卒のバス運転手の採用、養成に取り組んだ。

若井さんは近江鉄道八日市

営業所に配属される。趣味は体を動かすことと野球。家族の影響でもともと車好きだった。通学で利用していたこともあり、バス運転手に憧れ志望したという。山口さんは湖国バス長浜営業所に配属予定。趣味はサッカーと映画鑑賞。高校時代に部活動の練習試合などでバスを利用した。その時、地域住民の力になれる、やりがいのある仕事だと感じたという。

【彦根通信部・伊藤信司】



運転手デビューする（左から）山口夢王さん、若井貴清さん

市がひこにゃん派遣値上げ
「運営経費など高騰」

彦根

彦根市は7月、キャラクター「ひこにゃん」の写真の特別派遣負担金を値上げした。「運営経費等の高騰」が理由という。

ひこにゃんの出演は「通常派遣」と「特別派遣」に分かれている。通常派遣は市が経費を負担するが、次のいずれかの条件を満たす必要がある。彦根市民や市外来訪者が参加し、PR効果が見込める公共性の高い行事▽市内の中学校区以上の範囲で、子どもを対象とする行事▽市外で開催され、彦根市の産業振興にも寄与する行事。

特別派遣は民間事業者等のイベントが対象。事業者側の負担金（1日あたり）を3万円値上げし14万円とした。ただし①市内事業所からの依頼②非営利の法人や団体からの依頼③物産展など彦根に関するイベント④市長が指定する催し——については1日あたり7万円とする。問い合わせは同市エンタテインメント課（0749・30・6153）。

【彦根通信部・伊藤信司】

